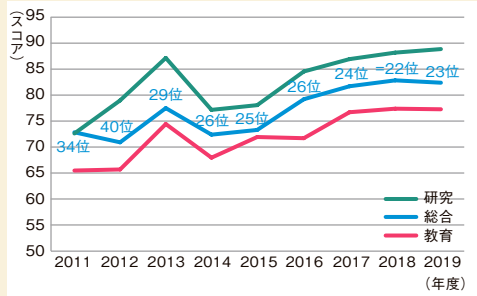




学生数 / 30727人
 学部および大学院プログラムは、次の学部・スクールで提供 / 文学・語学・社会科学、経営学、情報工学、継続・生涯教育、歯学、デザイン・環境学、工学、総合科学・工学、法学、医学、音楽学、公衆衛生、公共政策、理・科学、ユニバーシティ・スカラーズ・プログラム (USP)、イェール-NUSカレッジ、デューク-NUSメディカル・スクール
 ▶THE世界大学ランキング2019 / 23位 ▶同アジア大学ランキング2019 / 2位
 ▶同世界大学評判ランキング2018 / 24位

THE 世界大学ランキングの順位・スコア推移



リーダーシップと意思決定、 構成員とのつながりを重要視

本学はわが国唯一の国立総合大学です。1905年に設立された医学学校がルーツで、1980年に南洋大学、シンガポール大学と合併して現在のシンガポール国立大学 (NUS) が生まれました。転機となったのは2005年です。政府との取り決めで、プログラムの策定や重点化する研究分野をある程度自由に決定できるようになり、ユニークな特徴を持つことが可能になりました。

ブランド構築のために、私たちが重要視している点は3つあります。1つ目は「卓越したリーダーシップ」です。リーダーが率先して方針を示さなければ、他大学との差別化は図れません。リーダーが「大学を発展させたい」「イノベーションを起こしたい」と強く思うことで、初めて物事が前進するのです。

2つ目は「慎重な意思決定」です。大学間の資金獲得競争は激しさを増しています。本学のような大規模大学でも、同時に全てのことに挑戦するのは不可能です。何が重要であるかを慎重に判断し、優先順位をつける必要があります。

3つ目は「誠実なつながり」です。私たちはよい評判を保つことを第一に考えています。本学の評

海外事例

シンガポール国立大学 大学のミッシェンと ブランド構築戦略

判が傷つくと学位の価値が下がってしまいます。そのため、学生や卒業生、寄附者の声に耳を傾け、その考えを積極的に知るようになっています。

また、学内の綿密なコミュニケーションも欠かせません。私は首席広報官として学長やプロボストと、毎日のようにディスカッションをしています。大学の構成員が同じ価値観のもと、自学が歩む方向性に対して意見を持つことが重要なのです。

海外連携、構成員の声、優れた教育が 大学の評判を高め、広めてくれる

2000年ごろからは研究力強化のために、海外大学とのアライアンスの構築を積極的に推し進めています。リソースが限られる中で、全てを自学でゼロから立ち上げる必要はないとの考えからです。また、海外大学との協働を通じて、これまで存在しなかったものを生み出すことができます。例えばイェール-NUSカレッジでは、リベラルアーツを通して東洋と西洋の概念を同時に学ぶことが可能です。

大学運営面でも連携を進めています。本学の職員を海外大学へ派遣することもありますし、われわれが受け入れることもあります。これによってスタッフのレベルは着実に上がっています。

起業家教育にも海外大との提携を活用しています。NUS Overseas Collegesは本学が展開する海外12拠点で、昼間はベンチャー企業でインターンとして働き、夜間は提携大学で学ぶプログラムです。修了生はすでに2800人以上を数え、370以上の企業をスタートアップさせています。このプログラムはオバマ前米国大統領にも評価されました。

大学の評判は、大学が存在しない場でつくられるものです。優れた教育・研究機関と協働し、構成員の意見に耳を傾け、社会にすばらしい教育を提供する。これにより連携先の関係者や学生、同窓生が、大学のよい評判を広め、それがさらなる評判につながるのです。



シンガポール国立大学
首席広報官

オヴィディア・ リム・ラジャラム

注目! NUSのリカレント教育施策 ～学籍は入学後20年間有効

日本以上に、少子化が進むシンガポールでは、政府が主導してリカレント教育を推進している。国民が長期にわたって社会で活躍するためには、知識のアップデートが必要だからだ。それに応じてNUSは、学生の学籍を入学後20年間登録し続け、卒業

生は社会人向け短期コースを低価格で受講できるようにしている。AIやデータ解析、医療、人文学などのコースがあるという。

「社会人は大学に戻り、最先端の知識、新しい友人を得ることができる。このことは、教員や在校生にもよい影響を与える。教員は教えていることが現実社会からかけ離れていないかを知ることができるし、学生も社会人から学ぶことは多い。理想的な学び合いの場と言えます」(リム・ラジャラム氏)。

NUSの 生涯教育モデル

